

① 生徒のアンケートより

- ・全体の92.8%が「学校生活は楽しい」と考えており、前期の89.9%からさらに上昇しています。特に、1年生の98.6%が肯定的に考えており、各授業や学校行事などを通して、子供たち同士が絆を深めている様子が見られます。
- ・全体の93.7%が「自分の意欲や努力を認めてくれる先生がいる」と考えており、前期よりさらに上昇しています。しかし、「心配事や悩み事があるとき、相談できる先生がいる」の肯定的な割合が72.9%と前期より若干下降しています。学校では、年明けに全ての生徒を対象にした教育相談を行いました。様々な要因から心にストレスを抱えている生徒もいると思いますので、今後も遠慮なく相談してほしいと思います。また、スクールカウンセラーの予約も随時行っておりますので、お声掛けください。
- ・「仲間の考えや話に耳を傾けることができた」という問いに対して、98.9%の生徒が肯定的に考えています。特に、3年生の100%が肯定的に考えており、仲間を思いやって聴き合う環境作りを意識した結果だと感じます。今後も、安心して考えを伝えられる居心地のよい学級・学年・学校を目指してまいります。
- ・「生徒会活動・学校行事に積極的に参加することができた」という問いに対して、全体の91.5%が肯定的に考えています。特に、1年生は前期の85.7%から後期の93.2%に、2年生は前期の81.9%から後期の85.3%に上昇しています。運動会や合唱コンクールなどの学校行事や各生徒会活動に主体的な取組を継続してきた結果だと感じます。今後も生徒が自ら考え、行動する活動を支援していきたいと考えています。
- ・「授業や学校行事の場面で「語り合う」を意識することができた」という問いに対して、80.4%の生徒が肯定的な回答をしています。特に、1年生は前期の81.6%から後期の86.3%に上昇しています。上級生の語り合う姿を模範にして、生徒会や学校行事などで自分の思いを発信することができた結果でしょう。今後も「語り合う」場面を意識し、自己開示のできる集団を目指していきたいと考えています。
- ・全体の97.8%が「ICT機器を授業の中で活用している」と考えています。11月に行われたICT研究発表会では、「深い学びを実現する手立てとしてのICT利活用」について実践発表をしました。ICTを駆使して、学習課題に取り組む生徒たちの姿に多くの先生方から驚きの声が上がりました。今後も、情報リテラシーを踏まえながら生徒たちが主体的に情報処理能力を育んでいく授業を目指していきたいと思えます。
- ・「自分で計画し、自分の進路に向けて主体的に学習した」という問いに対して、全体の肯定的意見が68.9%から73.1%と上昇しました。3年生は、前期の72.0%から後期の83.6%と大幅に上昇しています。進路決定に向けた面談や面接練習を通して、進路を意識する場面が多く見られたからでしょう。また、2年生もキャリア学習を通して、自己の進路を見つめる場面が増えたことで、上昇しました。今後さらに自身の進路について考え、主体的に学習する

時間が増えると期待しています。1年生も来年度、再来年度に向けて、キャリア学習を充実させ、自分自身を見つめる時間を確保していきながら、生徒を支えていきたいと考えています。

## ② 生徒の意見に関する回答

- ・「ジャージの改善」に関する意見が前期同様に出ています。来年度、制服が変更され、一区切りがつかますので、来年度の生徒会を中心に準備をしていけると 생각합니다。来年度、生徒からジャージの改善に関して意見がありましたら、時間がかかるかもしれませんが、生徒自身が話し合う機会を設けたいと思います。
- ・防寒着や制服登校試用期間に関する意見がありました。学校では、入学当初に購入した制服を3年間、大切に着用してもらいたいという思いがあります。また、場に合った服装を判断する力を身に付けてほしいという願いもあります。そこで、生徒たちと教員が話し合いながら、服装について考える機会を作りたいと考えています。また、上級生になれば進路に向けてマナーを学ぶ機会も増えます。時と場所、目的に合わせた態度・服装を正しく選択できる大人に近付くため、地域・家庭・学校で考えていく課題であると感じています。

## ③ 保護者のアンケートより

- ・「安心してわが子を任せられる学校である」の問いに対し、前期よりさらに上昇し、96.7%の保護者が肯定的に考えてくださっています。心より感謝を申し上げます。今後も、学校と保護者が手を取り合い、子供たちの明るい未来を支えることができると考えています。
- ・「わが子は心配や悩み事があるとき、教師に相談している」の問いに対し、1・3年生の肯定的な割合が上昇しています。1年生は、学校であったことを保護者に報告している様子が伺えます。3年生は、学級担任との進路に向けた面談が生かされていると思います。2年生の肯定的な意見が増えるよう、教育相談を効果的に活用していきたいと考えています。
- ・「わが子は挨拶を習慣化している」の肯定的な割合が前期より下降していることが気になります。挨拶運動など生徒たちの主体的な活動を促進していきたいと考えています。
- ・「わが子と地震などの緊急時について決めていることがある」の問いに対し、45%の保護者が否定的な回答をしています。元旦に起こった能登半島地震を教訓に、岩松地区における特色を把握しながら緊急時の避難場所・集合場所などを決めておくことはとても大切だと感じます。来年度は、今までコロナ禍で実施できなかった「三校合同引き渡し訓練」を復活させる予定です。これは、大地震が起きた後、迅速に子供たちを引き渡すための訓練です。ぜひ、緊急時についてお子様と話し合っただきたいと思っています。
- ・「わが子は読書をする習慣がついている」の問いに対し、肯定的な意見が31.9%と非常に低い割合でした。図書委員を中心に読書旬間など読書に親しむ活動に力を入れていきますが、家庭でも本について触れる機会があれば幸いです。

#### ④ 保護者の意見に対する回答

- ・前期に「制服を着る機会がない」「学年によって、制服を着る日が違う」というご意見がありました。これを受け、後期は始業式・終業式・卒業式などの儀式的行事、テスト、合唱コンクールなどの日を制服登校としました。また、制服登校試用期間を12月から1月まで設けることで、制服を着用する機会を増やしました。一方で、荷物が多くなるという理由で制服登校試用期間に反対意見の保護者もいらっしゃいました。そこで、試用期間後に生徒たちの意見を聴いたり、話し合い活動をしたりする中で服装について考えていきたいと思っております。また、子供たちの多様性を第一に考えておりますので、制服の着用に関して困り感のある場合は、遠慮なくご相談ください。
- ・「運動会の色別パフォーマンスでテントが邪魔で見にくかった。」というご意見がございました。今年度は記録的な猛暑であったため、生徒たちの安全を優先させていただきました。大変申し訳ございませんでした。来年度の運動会は、今年度より少し涼しい時期を予定しております。テントの有無に関しては、天候や気温を配慮しながら子供たちの安全を最優先に考えていきますが、応援席に関しても再考するつもりでございます。何卒、ご理解いただきますよう、お願い申し上げます。
- ・毎回、トイレに関する要望が保護者からも生徒たちからもあります。我々教職員も子供たちの健康な生活を願ってトイレについて市に要望を出しております。予算の関係ですぐに実現できるものではないそうですが、やっと1階に多目的トイレが1つ設置されました。何卒、現状をご理解いただきますよう、お願い申し上げます。
- ・かりがね橋の開通に際し、交通量が増え、事故を危惧する声が多く寄せられました。学校でも子供たちの安全を第一に考え、地域の皆さんと共同で信号設置を静岡県警に要望しているところです。先日は、市の道路整備課の職員と校長が富士警察署の交通課に信号設置を求め、陳情書を提出したところです。回答はまだありませんが、継続して要望していくつもりです。